

< 新任研修「綜芸種智院」「ヨーロッパ私学」の感想をめぐって >

今回のテーマと感想を読んで「公教育」と「私学」について考えてみました。

1. 感想に書かれた研修会以前の「私学」観

- ・個人的に、私学と言えば、「授業料が高い」や「公立に行けなかった生徒が来る」など、マイナスの部分が目立っている印象…
- ・私学で働いている教員は公立で教員になれなかった人たちの集まりということを私も学生時代に聞かされていました。

映画「それぞれの旅立ち」の冒頭、公立入試に「失敗」してなかなか帰宅できない生徒や、父親から「お前に任せていたのに！」となじられる母親の姿が描かれています。この映画を観るたびに公立入試に「失敗」し打ちひしがれて帰宅し、部屋に閉じこもって寝ていた自分の姿を思い出します。

雨の日は傘で近所の人に顔を見られずにすむから嬉しい、という場面もあったかもしれませんが。私も通学の市バスで志望校だった高校の生徒を見るのが辛かった時期があります。私が私学のことを考えられるようになったのはこうした体験からで、もし合格していたら「金がないなら私学なんかに行くな！」と1億円募金の生徒に罵声を浴びせる側の人間になっていたかもしれません。公立高校出身者が圧倒的に多い前の職場（三重大教育学部）の授業でも学生の中にある私学への「偏見」は根強く、苦勞しました。

この研修で学んだことが私学に対する認識を変えたり、理解を深めることにつながったとの感想を読んで頭が下がりました。

2. 「公教育」とは何か？

私に関わる教育の全国研究会参加者は公立小中学校の教員が多く、議論のなかでも「公教育＝公立学校の教育」という認識がよく感じられます。愛知私学の教育活動を話題にしても、「裕福な家庭の子どもが通う私学だからできること。」という反応が返ってきます。残念ながら、教育学研究者のなかにも「公教育＝公立学校の教育」という言動が見られます。

教育学の学界では、「公教育」に関しておよそ以下のような見解があります。

- ①公費によって運営される国公立学校の教育
- ②私学を含めた公的性質を持つ教育
- ③専門学校まで含めた国民的な教育

現在、学界の多数意見は②の見解です。

わが国では、「公の性質」をもち、法律の定めにもとづいて運営されている教育組織を指して公教育という。ちなみに、教育基本法第6条は「法律に定める学校は、公の性質をもつものであって、国又は地方公共団体の外、法律に定める法人のみが、これを設置することができる」「法律に定める学校の教員は、全体の奉仕者」と規定されている。この規定からみれば、わが国では、国公立学校はもちろん、私立学校もまた、「公の性質」をもつ公教育であり、私学の公費助成の根拠もこの点に求められている。

（『現代教育学事典』1988年、労働旬報社 この項の執筆は堀尾輝久氏）

ここでいう「公の性質」は近年「教育の公共的性格」という言葉で議論されています。私が愛知私学の教育活動を紹介する時もこの言葉を用いますが、日本では「教育の公共的性格」が

崩されているという問題意識を持っているためです。「伝々夢詩」第17号で紹介した沖縄の学校の状況に象徴される「学力競争」が子どもの中に敵対的な関係を持ち込み、公費を投入するに値する「公の性質」を持ち得ているのか極めて疑問に思うからです。

「教育の公共的性格」を私は「自分の幸せと他人の幸せを重ね合わせて考えることができる人間を育てる教育」とも言い換えています。愛知私学の教育活動を通して学んだことを私はこのように表現します。1億円募金や阪神淡路大震災、東日本大震災そして今回の熊本震災、本校では普賢岳火砕流被災など、経済的理由で退学する身近な「仲間」や、高校進学で苦悩する「まだ見ぬ仲間」そして被災された方々に想いをはせて考え、行動する生徒たちに「教育の公共的性格」の具体的な姿を私は見えています。

5月4日の新入生歓迎フェスティバルに生徒達がどんな輝きを見せるのか、楽しみです。

地域民主教育全国交流研究会沖縄大会 案内(未確定案)

日 時 12月23日(祝)12時半～25日(日)13時

日 程 12月23日(金)辺野古現地調査 沖縄県庁前からバスで 18時帰還 夜「若者広場」

12月24日(土) 9時 開会行事 沖縄大学

桜井前沖縄大学学長「辺野古新基地問題」

喜屋武 幸「米軍新基地建設問題は地域の生活と教育に何をもたらしたか」等

13時～16時半 分科会(子ども、学習、教師・学校、地域)

18時～20時 全国地酒持ち寄り大交流会

12月25日(日) 9時～12時 分科会

12時10分～13時 閉会集会

*12月22日が本校の終業式のため参加が難しいかも知れませんがぜひ御検討ください。この集会の準備の会議が連休中にあり沖縄に行きます。公開授業を参観できない先生方、申し訳ありません。なお、来年の11月3～5日には名古屋市で愛知集会を開催したいと考えていますので、先生方の御参加、御協力をよろしくお願いいたします。

愛知私教連・退職教職員の会 第9回文化展

教師のまなざし
撮影：佐藤廣和氏



5月10日(火)～5月15日(日)

名古屋市民ギャラリー栄・第1展示室

地下鉄栄駅 12番出口東へ50m

絵画・写真・書・工芸・絵手紙・版画・

俳句・短歌・詩など

私学OB、OG、現役の教職員や父母が多数出展

私は写真を3点出品します。退職教職員の会と友好関係にある愛知父母懇OB会会員も、俳句や短歌、手芸などを出品します。ぜひ足をお運びください。入場は無料です。

私は14日の午後(看護宣誓式終了後)と15日の午後、受付にいます。